

振り返って思うこと



御殿場市立玉穂幼稚園

渡邊 公美 (昭58卒)

幼稚園教諭になってから三十四年が過ぎ、十年前には管理職となり、園運営、職員指導等に専念してきます。日々子ども達が笑顔で生活できることを念頭において、時には見守ったり一緒に関わったりして子ども達の成長を願いながら生活しています。幼稚園教諭の時は、子どもと一緒に体を動かして遊び、短大で学んできた事を活かそうと思いつつ保育をしてきました。実際担任になって学級経営をした時に、なかなか思うようにはいきませんでした。ただ体育大学独特の上下関係の厳しい



中で、礼儀、規律、態度、挨拶を沢山学び、そしてレクリエーション研究会での経験が保育や職員間で活かすことができたように思います。

その当時、レクリエーション研究会は全員で五十人以上いました。活動としては、名前の通り、レクリエーションゲームや歌、ダンスを覚えたりレクリエーションを活かせる場での実践をしたりなど、様々な活動をしました。今でも思い返すと毎日が楽しい学生生活を過ごしたなと思っています。レクリエーション研究会の仲間との絆もとても強く、卒業してから、それぞれの道へ進み、住んでいる地域や県も違いますが、時々東京横浜へ集まったり、皆で旅行に出かけたりして、今でも交流が続いています。現在幼稚園の先生をしているのは、私ともう一人います。

編集後記



寒い間、霜避けの為、ビニールのケースに入れて置いた「君子蘭」が花芽を膨らませ、3月には沢山の赤橙色の花を咲かせてくれました。

お陰様で、第33号を発行する運びとなりました。執筆をして下さった皆様、ご多忙中ご協力を頂き、誠に有難うございました。

昨年度は、日体大創立125周年記念式典が盛大に開催されました。前日の午後、新装された深沢校舎に同期の短大卒と学部卒の仲間が集まり、現同窓会長の瀧澤先生に案内して頂きました。現代的な素晴らしい施設や装飾品の一つずつに感動して来ました。都内のホテルで行われた懇親会には、60名程の方が集まり、お互いに気を遣わずに居られる雰囲気は、時間を忘れさせてくれました。女性陣の元気な様子に圧倒されました。日体大卒の良さを改めて感じました。

リオ五輪での同窓生の活躍は、子供達に夢と努力することの大切さを教えてくれました。2020年の東京五輪・パラリンピックも楽しみです。

会報は大学や同窓会の様子を知ると共に、同窓生の活躍を感じて、学生時代を思い出す機会を得る役目を担っています。どうか、この役割を続けて行く為にも、会費の納入をお願い致します。

私は地元の公立幼稚園、もう一人は私立幼稚園に勤務しています。他の仲間は主婦や他の職業ですが、三十年以上も続いているこの仲間の温かさや優しさが昔を思い出させてくれて、とても励みになっています。

平成二十七年に日本体育大学短期大学部が閉校になったと聞いています。それを聞いた時には、時代の流れをとて感じました。今では短大で学ぶよりも四年生大学が増えてくるのだからと思います。短大はなくなっても、大学は存在していますしアスリートが多いので、色々な場

で日体大と聞くと、親近感を感じますし、いつでも応援したいという気持ちがあります。

今は、時々三歳児の子ども達が甘えてくるので、そんな子ども達の可愛さと無邪気さに癒されています。

また、子ども達のために誕生会の後のお楽しみで、手品やクイズなどの出し物や寸劇で歯医者役をするなど扮装して演じています。

これからも、子ども達の成長を願いながら、一層努力し、これまで心の支えとなってきたレク研の仲間にも感謝したいと思っています。